

栗原地域だより

第 11 号

平成 26 年 1 月 6 日発行

今号からリニューアルしました！～地方振興事務所版から栗原合同庁舎版へ～

目次

- 年頭にあたって p1
- 伊豆沼・内沼に今年も多くの冬鳥がやってきました p2
- 栗原地方青年文化祭が開催されます p2
- 栗原の農産物直売所、農家民宿、農家レストランで楽しんでみませんか p3
- 「北限のレンコンと栗原の技を楽しむモニターツアー」を開催しました！ p4
- 栗原ブランド「若柳牛」をご存知ですか？ p4
- みやぎ出前講座で栗原市内を走り回っています！ p5
- 小田ダムで育樹祭を開催しました p6
- 栗駒耕英東地区の砂防施設群が完成しました p6
- 国道398号の一部をバイパスしました p7
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p8

伊豆沼の朝焼け



年頭にあたって

宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所所長 増子友一

新年明けましておめでとうございます。

栗原地域は、数年の間に岩手・宮城内陸地震と東日本大震災に見舞われ、甚大な被害を受けました。関係各位の懸命の努力により復旧・復興が進められてきましたが、放射性物質の汚染問題など様々な課題が残されています。

県では、「宮城県震災復興計画」を策定し、復旧にとどまらない抜本的な再構築に向けた取組を推進してきました。当事務所としましても、栗原市をはじめ関係機関と連携・協力しながら、着実に歩を進め、栗原地域の復興と振興に取り組んでまいりますので、一層の御理解と御協力をお願いします。

この「栗原地域だより」は、県の業務をわかりやすくお知らせするため平成 24 年 5 月から発行してきましたが、このたび内容をリニューアルし、地方振興事務所だけでなく、栗原合同庁舎内のすべての事務所から情報提供することになりました。今後とも内容の充実に努め、旬の話題をお届けしますので、御愛読いただき、御意見をお寄せいただければ幸いです。

平成 26 年が皆様にとって幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。



伊豆沼・内沼に今年も多くの冬鳥がやってきました
～ガンカモ類生息状況調査～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原市では、秋から冬にかけて多くの渡り鳥が見られます。特に、日本に渡って来る準絶滅危惧種である「マガン」は、全国の約80%が伊豆沼・内沼をはじめとする県北部の湖沼や河川で冬を越しています。県では、昭和44年度から冬鳥であるガンカモ類の生息調査を行っています。調査は、毎年3回(11月、1月、3月。1月は全国調査を兼ねる)県内全域で実施し、ガンカモ類の保護に役立っています。



伊豆沼のガンの飛立ち

写真提供：宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター

飛来が始まる11月に第1回目の調査が行われ、その結果は右表のとおりでした。

今回の調査では、県内全体の飛来数が昨年度に比べ減少していますが、調査日時点では寒さが本格化していなかったことから飛来が遅れていたと考えられます。また、栗原市内だけを見れば多少増加していますが、ほぼ例年並みの飛来数です。

区 分		飛 来 数(羽)	前年同期 飛来数(羽)	前年比 (%)
ガ ン 類	県内全体	126,231	190,886	66
	栗原市内	30,036	26,357	114
ハクチョウ類	県内全体	4,469	5,701	78
	栗原市内	723	454	159
カモ類	県内全体	29,621	37,248	80
	栗原市内	934	870	107
計	県内全体	160,321	233,835	69
	栗原市内	31,693	27,681	114

調査日：平成25年11月7日(木)

ガンカモ類の生息数が増えることは、自然環境が豊かであることの証しと言われています。

渡り鳥が安心して越冬できる環境を守っていくため、皆様の御協力をお願いします。

野鳥における鳥インフルエンザの発生シーズンを迎えて

野鳥の大量死や同一場所(見渡せる範囲)での連続死、死亡原因が分からない野鳥を見かけるなどした場合は、野鳥に近づきすぎないように注意の上、下記連絡先又は栗原市役所農林振興課にご連絡ください。

■お問い合わせ 林業振興部 森林管理班 Tel:0228-22-2133

栗原地方青年文化祭が開催されます

～「バンドフェスティバル2014」～

北部教育事務所栗原地域事務所

青年の文化活動及びスポーツ活動を軸として、豊かな地域社会の創造を目指すことを目的に、栗原地方青年文化祭「バンドフェスティバル2014」が開催されます。これは、青年地域活動促進事業の一環で行われるものです。



昨年のステージ発表の様子

当日は、栗原市を中心に近隣で軽音楽に取り組んでいるバンドが10団体ほど集い、自分たちで企画・運営をしながらステージ発表を行います。練習場所や時間の確保等での苦労も少なくない中で、バンド活動を続けている青年達の情熱が伝わって

きます。また、当日は青年達が撮影した写真の展示発表も予定していますので、ぜひ演奏とともにご鑑賞ください。

- 日時 平成 26 年 2 月 2 日（日）
- 場所 若柳総合文化センター（ドリーム・パル）
- チケット 前売り券：500 円 当日券：700 円
- お問い合わせ

バンドフェスティバル実行委員会（熱海） Tel：0228-22-3933

北部教育事務所栗原地域事務所 教育班 Tel：0228-22-2132

栗原の農産物直売所、農家民宿、農家レストランで楽しんでみませんか
 ～「みやぎスマイル&スマイルキャンペーン」～ 北部地方振興事務所栗原地域事務所

現在、県では「みやぎスマイル&スマイルキャンペーン」を実施しています。このキャンペーンは、風評被害の早期払拭と、作り手の真心あふれる宮城の特産品を消費者の方々に紹介することを狙いとしています。

期間中は、県内の農産物直売所、農家民宿、農家レストラン等の協賛店舗にのぼりが掲げられ、抽選により景品が当たるスタンプラリーが行われます。さらに、キャンペーンの一環として、1 月 28 日（火）に栗原市で消費者バスツアーが計画されています。

キャンペーンについては、「りらく」、「リビング仙台」、「河北しゅん」、「michi-co」等の情報誌、フリーペーパーで 12 月から 3 月にかけて特集記事が組まれています。

豊かな自然に恵まれた栗原地域では、おいしい農産物が生産され、優れた農村文化が継承されています。皆さんもキャンペーンで栗原の食と文化を体感してみませんか。

■キャンペーン期間

平成 25 年 12 月 20 日（金）から

平成 26 年 3 月 17 日（月）まで

■協賛店舗（栗原市内）

農産物直売所	農家レストラン	農家民宿
旬鮮彩菜わくわく、あじわいの朝築館店、わかやなぎ農産物直売所くりでん、道の駅路田里はなやま自然薯の館、あいすむら、あやめの里、あぐりっこ金成	お食事処四季味	有賀の里たかまった

■公式サイト <http://www.miyagi-smile.jp/>

■お問い合わせ 農業振興部 地域農業班 Tel：0228-22-9404



目印ののぼり



スタンプラリーの台紙

「北限のレンコンと栗原の技を楽しむモニターツアー」を開催しました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

当事務所では、栗原市へ多くの方に来ていただくことを目的として、昨年から関係団体（栗原市、観光物産協会、くりこま高原駅、伊豆沼・内沼環境保全財団等）と、栗原東部の伊豆沼・内沼を中心とした観光について話し合いを進めてきました。

この中で提案された内容が、観光旅行に活かせるかを探るため、仙台近郊の方々を対象とした「北限のレンコンと栗原の技を楽しむモニターツアー」を平成 25 年 12 月 10 日(火)に開催しました。ツアーには 60 代の女性を中心に、41 名の参加がありました。

ツアー内容は、伊豆沼・内沼の豊かな自然の解説、北限のレンコン収穫作業の見学、栗原の旬の素材を活かした昼食、栗原の伝統の技(若柳地織、米粉製粉)の見学やミニ畳作りの体験、空を覆い尽くすかと思われるほどの迫力あるガンのねぐら入りの観察など、盛りだくさんでした。参加者の方々からは「また家族と来ます」、「栗原の自然や職人の技がすばらしかった」といった感想をいただき、今後の誘客に手応えを感じました。

■お問い合わせ

地方振興部 商工・振興班 Tel：0228-22-2195



豊田製織機で作られた若柳地織に感心する参加者



熱心にミニ畳作りをする参加者

栗原ブランド「若柳牛」をご存知ですか？

北部地方振興事務所栗原地域事務所

「若柳牛」は、肉全体に行き届いた霜降りが特徴の風味豊かな牛肉です。若柳地区では、昭和 37 年に東京市場への肥育牛*の出荷が始まり、昭和 45 年に銘柄牛としての「若柳牛」が確立されました。この定義は、若柳地区内で概ね 20 ヶ月以上飼養された黒毛和種であり、枝肉取引規格が 4 等級以上の肉です。「若柳牛」は商標登録がされており、栗原市が独自に定めた栗原ブランドにも認定されています。

「若柳牛」は、栗っこ農業協同組合内にある若柳牛肥育部会の 49 名で生産されています。肥育部会では、販売体制の推進強化や飼養管理技術の向上対策に取り組んでいます。昨年度は 447 頭が主に東京に出荷されました。平成 25 年 11 月 26 日(火)、東京都中央卸売市場・食肉市場において、「若柳牛」の枝肉共励会が開催され、19 名の生産者が 26 頭を出荷し、上物率（5 段階の格付け等級のうち上位の 4、5 等級と



若柳牛店頭用パネル写真

なったもの)は88.5%、平均の枝肉価格は1,048,816円と素晴らしい成績となりました。チャンピオン賞を獲得した高橋栄一さんには、北部地方振興事務所栗原地域事務所賞が授与されました。

「若柳牛」は、栗原市内ではAコープ迫店で取り扱われています。桜をモチーフにしたマークが目印です。栗駒山の緑と水、豊かな自然に恵まれた“日本の味”「若柳牛」をぜひ一度賞味されてみてはいかがでしょうか。

※…食肉用に育てられる牛

■お問い合わせ 畜産振興部 畜産振興班 Tel:0228-22-2487

みやぎ出前講座で栗原市内を走り回っています！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

当事務所の県民サービスセンター（消費生活相談窓口）では、県民の方々が消費者トラブルに遭わないように、わかりやすく楽しい内容に努めながら「みやぎ出前講座」を開催しています。

今年度は平成25年12月まで既に22回実施し、約1,300人の方々と楽しく勉強をしました。小学校では、若柳小学校3年生(学年PTA)、高清水小学校6年生(総合学習)、瀬峰小学校4・5・6年生(防犯教室)、築館小学校2年生(学年PTA)、志波姫小学校6年生(学年PTA)の6校で実施しました。最初は恥ずかしがっていた児童も、時間がたつにつれたくさん発言をして講座を盛り上げてくれました。



築館小学校テーマ「おつかいすごろく」の様子

平成25年9月には、栗原市民生委員児童委員協議会主催の研修会で、「高齢者が狙われるトラブルについて」の講話をし、12月には、栗原市社会福祉協議会栗駒支部主催の研修会で、「最近の消費者トラブルの実態とその防止について」の講話とグループ学習を行いました。



栗原市社会福祉協議会栗駒支部研修会の様子

消費者トラブルへの対応は、犯罪者の手口を知っているのと知らないのとでは大きな差がでできます。お茶っこ会や地域の集まりなどで話題にさせていただくだけでも、大きな未然防止の効果が期待されます。賢い消費者になって犯罪のない安全で住みよいまちをつくりましょう。

みやぎ出前講座については、下記までご相談ください。

■お問い合わせ 県民サービスセンター消費生活相談窓口 Tel:0228-23-5700

小田ダムで育樹祭を開催しました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

平成 25 年 11 月 15 日（金）に、小田ダム湖畔で育樹祭が開催されました。当事務所の他、迫川上流土地改良区、真坂土地改良区、小山田川沿岸土地改良区、西向土地改良区、栗原市、宮城県土地改良事業団体連合会等約 40 名が参加しました。

植樹祭は毎年開催されてきましたが、植栽された緑化樹（植栽樹）の中には、その後の管理が行き届かず、繁茂した雑草にまかれて生育不良あるいは枯死しているものも見られます。植栽地の雑草対策としては、エンジン刈払機による刈り払いが、通常用いられる手法ですが、今回は植栽樹周辺の雑草を刈り払い、段ボールを樹木の根本に敷き詰めるという手法を採用し、約 100 本の作業を実施しました。これまでの植栽樹を雑草の繁茂から保護し、その生存率、識別性を高めることで、管理作業の効率化を目指しました。

段ボールによる保護は、今年の 6 月頃に試験施工を実施し、半年程度効果が続くことが実証されていました。今後も効果の高い管理手法を模索し、適正に保護していきます。



雑草撤去後の様子



段ボールによる保護

■お問い合わせ 農業農村整備部 農地整備第一班 Tel：0228-22-2401

栗駒耕英東地区の砂防施設群が完成しました

～土砂災害を防止します～

北部土木事務所栗原地域事務所

栗駒耕英東地区の駒の湯温泉周辺では、平成 20 年 6 月の岩手・宮城内陸地震に伴う大規模土石流により、多量の土砂が流入し甚大な被害に見舞われました。堆積した土砂が再び土石流となり下流域に流出するのを防止するため、砂防激甚災害対策特別緊急事業等により砂防施設群の整備を進めてきました。

平成 25 年 10 月に施設群が完成したことから、事業完了と栗駒山麓の復興がより加速していくことを祈念し、11 月 12 日（火）にハイルザーム栗駒で完成式を開催しました。岩手・宮城内陸地震による県砂防復旧事業は、これで全て完了したことになります。



村井知事の挨拶

■お問い合わせ

北部土木事務所栗原地域事務所 河川砂防班

Tel : 0228-22-2193



施設整備状況(H25.9月撮影)

国道398号の一部をバイパス化しました
～一迫宮前工区 交通の安全性が向上～

北部土木事務所栗原地域事務所

交通安全施設整備事業として、平成19年度から整備を進めてきた国道398号の栗原市一迫宮前工区は、平成25年10月10日(木)に完成し、通れるようになりました。

国道398号は、宮城県と秋田県を結ぶ主要幹線道路であるとともに、地震直後から発生する緊急輸送を円滑に行うための「緊急輸送道路」に位置づけられている重要な路線です。また、宮前地区においては、地域に密着した生活道路であり、通学路に指定されています。しかし、歩道が未整備であるほか、カーブで見通しが悪く、交通事故の多発地帯となっていました。

これらの問題点を解消するため、延長850m区間をバイパス化し、歩道・車道幅員の確保、見通しの良い道路への改良、新しい橋を架けるなどの対応を行い、道路機能の拡充を図りました。

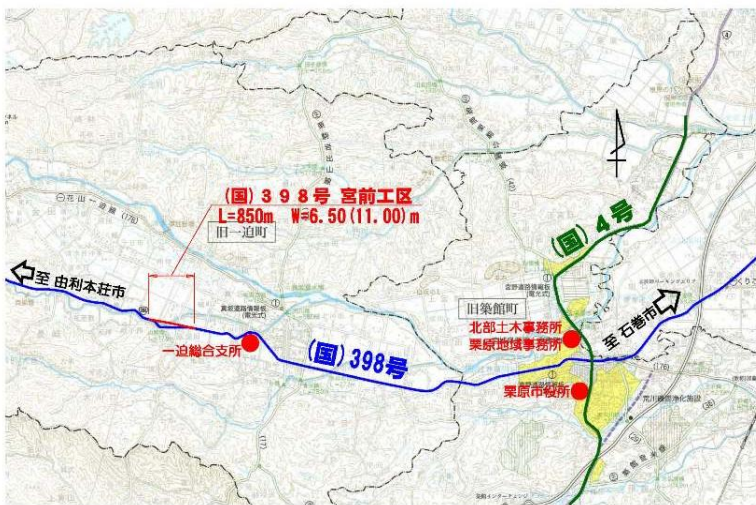
これにより、円滑な道路交通が確保されるとともに、地域の安全・安心が向上しました。



開会式の様子



交通開放後の様子



位置図

■お問い合わせ

北部土木事務所栗原地域事務所

道路建設班 Tel : 0228-22-2189

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

(平成 25 年 10 月 19 日～12 月 16 日)

北部地方振興事務所栗原地域事務所

10 月 19 日から 12 月 16 日までの間に農林産物 66 点を簡易検査し、一般食品の基準値（100 ベクレル/kg）の 2 分の 1（50 ベクレル/kg）を超えたものはありませんでした。このように市場に流通している食品はすべて安全が確認されています。

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの(10月19日～12月16日)

農産物				農産物			
品名	点数	施設	露地	品名	点数	施設	露地
小豆	4	—	◎	チンゲンサイ	1	—	◎
きくいも	3	—	◎	つぼみ菜	1	—	◎
柿	4	—	◎	長いも	3	—	◎
かぶ	5	—	◎	長ねぎ	4	—	◎
カリフラワー	1	—	◎	にんじん	4	—	◎
キウイフルーツ	2	—	◎	野沢菜	1	—	◎
キャベツ	2	—	◎	白菜	5	—	◎
グリーンボール	1	—	◎	ほうれんそう	1	—	◎
ごぼう	1	—	◎	ヤーコン	2	—	◎
こまつ菜	2	—	◎	ゆり菜	1	—	◎
さといも	1	—	◎	りんご	1	—	◎
セロリ	1	—	◎	れんこん	1	—	◎
大根	5	—	◎				

林産物				
品名	点数	施設	露地	野生
ぎんなん	1	—	◎	—
くるみ	1	—	◎	—
原木ヒラタケ	1	—	◎	—
自然薯	4	—	◎	◎

◎：基準値以下 一：検査未実施

※放射性セシウム濃度基準値

食品群	基準値(1kgあたり)
飲料水	10 ベクレル
乳児用食品	50 ベクレル
牛乳	50 ベクレル
一般食品	100 ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP をご覧ください。

(http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html)

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel：0228-22-9437（農産物について）
 林業振興部 林業振興班 Tel：0228-22-2381（林産物について）

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel：0228-22-2195(直通) Fax：0228-22-6284

E-mail：nk-khsinbk@pref.miyagi.jp

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号（第 12 号）は 3 月 3 日発行予定です。